

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2771
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)再生水利用下水道整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	貴重な水資源の有効利用を図り、水の循環利用を推進するため、再生水利用下水道の整備を行う。昭和62年度から「下水処理水循環利用モデル事業」として事業を行い、平成6年4月より周辺公共施設等へ雑用水の供給を開始した。平成6年の大湯水を契機に、8年度に「再生水下水道事業」として国の事業採択を受け、13年4月にサンポート高松への再生水の供給を開始した。また、13年3月には、サンポート高松に南接する中心市街地（北側）1.45ha、17年3月には新たに瓦町地区4.4haについて計画区域拡大の事業認可を受け、31年3月現在、64施設（旧牟礼町6施設含む）に供給している。		
3年度概要	周知啓発		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	再生水利用下水道事業計画区域
意図（どのような状態にしたいか）	再生水を利用する施設数の増加により、貴重な水資源の有効利用を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
単年度送水管布設延長	m	0	0	0	0	300

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
再生水利用施設数	施設数	目標値	62	62	64	64	65
		実績値	62	64	64		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 再生水利用促進に努めることにより、水の循環利用と節水の推進を図る。 (目標達成度)						(達成度) 100.0%	35点
成果指標名（どのような成果が得られたか） 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
		目標値					
		実績値					
						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,970	7,964	7,928	7,928
（事業費）	[円]	4,968	0	0	0
（職員人件費）	[円]	8,002	7,964	7,928	7,928

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
再生水の利用促進に努めたが、新たな利用施設は生じなかった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
事業仕分けの判定結果や議会の所管事務調査の意見などを踏まえ、現供給区域内において、大口利用者などの利用拡大を図ることにより、既存施設の有効活用を図る。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	水環境対策室
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2142
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	我が家の水がめづくり事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「水を賢く使うまち」の実現を目指すため、節水キャラクター「タメット」を活用した節水に関する事業や啓発活動などを「我が家の水がめづくり」と称し、国の定める水道週間や水の週間に合わせたイベントや巧水スタイル推進チームへの参加、ホームページなどの広告媒体の活用による節水意識の啓発、家庭等における節水型ライフスタイル普及策などに取り組む。				
3年度概要	氷源地域交流物産市開催 巧水スタイル推進チーム参加 水環境学習会開催				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


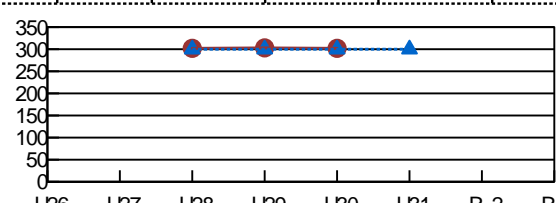

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	水の使用量に関心を持つことにより、節水を含めた水の有効利用の意識向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
水道週間関連イベントの開催回数	回	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
成果指標	1人1日当たりの水道水平均使用量	L	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	302	303	302		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 効果的な広報などにより、目標が概ね達成できた。 （目標達成度） 							（達成度） 99.3% 34点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,827	867	1,679	1,788
（事業費）	[円]	257	108	167	276
（職員人件費）	[円]	1,570	759	1,512	1,512

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

香川県や広域水道企業団と連携し事業の推進を図った。今後、更に関係機関との連携を深めることで、事業効果を高める必要がある。
--

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

平成30年度より、水道事業は広域水道企業団に移行したことから、より一層の連携を図り、事業効果の向上に努める。
--

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道経営課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2720
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 雨水利用施設整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	雨水貯留施設や浸透枳・浸透管などの浸透施設の整備に対して補助金を交付し、雨水貯留施設等を普及促進することにより、水の循環利用の推進と雨水の流出抑制を図る。				
3年度概要	小規模タンク 120基 中・大規模タンク 6基 浄化槽転用 50基 浸透施設 6件 需用費等	補助額 3,600千円 補助額 1,400千円 補助額 6,000千円 補助額 123千円 補助額 192千円			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民等
意図（どのような状態にしたいか）	高松市全域における、水の循環利用の促進と雨水の流出抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
補助金交付件数	件	53	34	33	182	50

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
雨水貯留施設等整備基数	基	目標値	179	179	185	182	50
		実績値	53	34	33		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>下水道整備区域が拡充されなかったことによる浄化槽転用の減少や、近年、湯水などが発生していないこともあり、市民の節水に対する意識の低下などにより、小規模タンク30基、中・大規模タンク1基、浄化槽転用2基の33基で、目標件数に対して2割程度の実績にとどまっている。今後更なる普及促進の必要がある。</p> <p>(目標達成度)</p> <p>(達成度) 17.8%</p> <p>6点</p>						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度)</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	10,786	9,684	5,239	15,279
（事業費）	[千円]	2,784	1,720	1,275	11,315
（職員人件費）	[千円]	8,002	7,964	3,964	3,964

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

小規模タンク30基、中・大規模タンク1基、浄化槽転用2基であり、平成29年度とほぼ同数であり、小規模、中・大規模タンクは増加しているが、浄化槽転用が減少している。その要因としては、下水道整備区域が大きくは拡大されなかったことによる浄化槽転用の減少や、近年、湯水などが発生していないこともあり、市民の節水に対する意識の低下などが考えられる。今後においても、減少傾向になると予測できることから、さらなる普及向上に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

雨水利用助成制度をより多くの市民に周知するため、広報・ホームページ等やイベントの実施により啓発することはもとより、平成29年の外部評価で「継続」の評価結果だったものの、市民に対して、幼少期より節水意識を高めることが必要と指摘されたことを受け、平成31年度から市内の小・中学校を対象に、環境学習を開催し、雨水の再利用の重要性を児童・生徒に周知・啓発する。